

令和元年度 第2回 療育講座を開催しました。

令和元年7月1日

第2回 療育講座として、中濃圏域発達障がい支援センター 地域支援マネージャー・言語聴覚士の浅野和枝先生をお招きし、“ことばの発達と幼児期に大切にしたいこと”というテーマで療育センターを利用して頂いている保護者の方向けに講演会を開催しました。

浅野先生には、言語聴覚士の立場から、次のような内容のお話をして頂きました。

- ①子どものことばやコミュニケーションの発達について
- ②それぞれの年齢でのことばについて
- ③家庭で育てていきたい力について
- ④園の集団生活で予想される姿について
- ⑤“食べること”と“ことば”の発達について



当日は、保護者28名と職員が参加しました。お話を聞き、講演を聞いた保護者の方からは、次のような感想をいただきました。

・家での接し方や困ったときの接し方、気持ちが共有できるように声を変えたりすると良いことなど、アドバイスがとても分かりやすく、すぐに実践できると思いました。

・今回の講演の中で、子どもが“伝えよう！”という気持ちやサインを見逃さずに反応してあげることが大切なのだと分かりました。指をさして「ま！」ということが最近増えてきたので、「〇〇だね」と名前を言ったりして、“思っていることを伝えたい！”という気持ちを高めていきたいと思います。

子どものことばの発達についてや、家庭の中で行えるような関わり方、また日常生活の中で、口の機能を育てる動作等について、幅広く教えていただきました。保護者の方と共にこれからの子ども達のサポートに役立てていきたいと思っています。